拝

六年

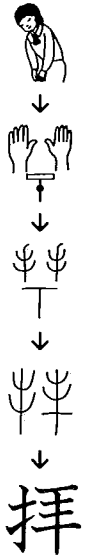
画数 8

筆順 扌 扌 扌 拝

オン ハイ

クン おが＝む

成り立ち



〝拜〟がもとの字です。両手をそろえた形の〝拜〟と、〝下〟という字の古い形の〝丁〟とを組み合わせて作った字です。

「両手をそろえて、それをひざの所まで下げる」ことを表した字です。一番ていねいな〝おじぎ〟を表したものです。〝拝礼〟と言います。

神を〝おがむ〟時にするおじぎですから、〝おがむ〟という意味に使われるようになりました。例参拝。

「官位を授かる」意味にも使われます。例大臣を拝命する。

また、〝拝見〟〝拝察〟〝拝読〟〝拝聴〟など、敬語に使われます。

使い方

▽わたしの家では、お正月に明治神宮に参拝する習慣があります。今年一年の健康と幸福を祈って参拝するのです。大勢の人たちと神社に拝礼すると、何だか良いことがありそうな気がします。

▽ぼくはアメリカのリンカーン大統領を崇拝しています。黒人を解放するために、自分の身を犠牲にするなんて本当に立派なことです。ぼくもいつか、人のためになれる人になりたいと思います。

熟語例

▽拝礼（ていねいにおじぎをして拝むこと。）

▽参拝（神社やお寺にお参りをして拝むこと。）

▽崇拝（ある人を尊敬して、あがめること。）

▽拝命（官位を授かること。）

▽拝見（見ることを、相手を敬っていう言葉。「お手数ですが切符を拝見いたします」などと電車の車掌さんが言いますね。）

▽拝察（おしはかることを、相手を敬っていう言葉。「さぞおよろこびのことと拝察いたします」などというふうに、つかいます。）

背

六年

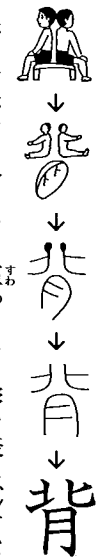
画数 9

筆順 ⺋ ⺋ 北 北 背

オン ハイ

クン せ・せい・そむ＝く＝ける

成り立ち



人が二人、背中合わせに座っている形を表し、〝せなか〟という意味を表した〝北（2年227）〟と、肉体の部分の名前を表す印の〝月〟とを組み合わせて作った字です。

〝背中〟のことを表した字です。例背筋、背面、背後、背泳。

また、〝後ろ〟〝裏〟の意味にも使います。例背景、紙背（眼光紙背に徹す）。

また、「背を向ける」という意味から、「背く」という使い方もします。例背水の陣、背信、背徳、背任。

使い方

▽ぼくは姿勢があまり良くないので、いつも先生やおとうさんに、背筋を伸ばせと言われます。背筋が曲がっていると内臓が圧迫されて、体に良くないのだそうです。

▽わたしは水泳が好きです。平泳ぎが一番得意ですが、今年の夏には背泳にも挑戦しました。クロールもできるので、来年はバタフライを習いたいと思います。

熟語例

▽背筋（背中の骨のあたりの筋肉）

▽背面（うしろ側の面。「背面から攻撃する」などというふうに、つかいます。）

▽背後（うしろ。また、そこから「表面に表れない陰の部分」という意味につかいます。）

▽背泳（背泳ぎ）

▽背景（絵や写真などで、主要な題材の背後の部分。また、背後にあるもの）

▽紙背（紙のうら。「眼光紙背に徹す」は、読みが深くて文面の奥の意味まで読みとることです。）